



令和6年度 いわき市立汐見が丘小学校 学校経営ビジョン

福島県の教育

- 「第7次福島県総合教育計画」
- 個人と社会の Well-being (一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ) の実現
 - 「福島らしさ」をいかした多様性を力に変える教育
 - 福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育
 - 学びの変革の推進

めざす教師

- 認め、褒め、励まし、子どもたちの可能性を伸ばす教師
- チームワークを大切にし、互いに高め合う教師
- 家庭・地域との連携・協働に進んで取り組む教師

学校教育目標

- ① 自分から進んで学ぶ子ども
- ② お互いを思いやる子ども
- ③ みんな明るくたくましい子ども

学校スローガン **笑顔がいっぱい元気な学校**
優しく 厳しく 温かく

今年度の重点目標

- ・耳と目と心で話を聴くことができる子の育成
- ・温かい言葉遣いができる子の育成

いわき市の教育

- 次代のいわきを担う子どもたちが、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」を身につけるとともに、「知・徳・体」のバランスの取れた「生きる力」を高めるための取組みを進め、いわきを支え、日本を支え、夢や未来に向かってチャレンジする人づくりの推進

めざす学校

- ◎進んで活動する学校 (あいさつ、返事、くつそろえ)
- 楽しく通える学校 (温かな人間関係、学べる環境づくり)
- 信頼される学校 (安全・安心な環境、保護者・地域との連携・協力)

めざす児童

① 知 進んで学ぶ子ども

- ◎自分の考えをもち、伝え合う子ども

② 徳 思いやる子ども

- ◎自他の思いを理解し、大切にしている子ども

③ 体 たくましい子ども

- ◎困難を乗り越え、最後までやり抜く子ども

努力目標

学びの環境の整備

- 「わかる」「できる」授業を工夫します。
 - 基本的な学習の構えを身につかせます。
 - 読書の習慣化に努めます。
- 「教師は授業で勝負する」
目標値:学力テスト「アンダー・アチーパーの減少」

具体的実践事項

- 1 学びの変革・授業力向上**
 - ・校内研修の充実・コーディネート力の向上・思いや考えを伝え合う活動の充実・振り返りの場の確保・ICTの効果的活用・「授業スタンダード」等の有効活用
- 2 学習の構えの定着**
 - ・「さわやかタイム」の実施・話の聴き方指導・ノート指導
 - ・教室環境の整備・「家庭学習スタンダード」の効果的活用
- 3 読書の習慣化**
 - ・「朝の読書タイム」「読み聞かせ」の実施
 - ・学校図書館の整備と利用の場の拡充

温かな人間関係づくり

- 互いのよさを認め合う集団づくりに努めます。
 - 互いの立場を考えた思いやりの心を育てます。
 - 共に行動するよさや楽しさを味わわせます。
- 「己の欲せざる所 人に施すことなかれ」
目標値:「いじめ認知件数の減少・新たな不登校0」

1 よさを認め合う集団づくり

- ・児童理解と自己実現に向けた支援や指導 (日常指導・児童アンケート・教育相談・外部機関との連携)
 - ・生徒指導の機能をいかした授業
- 2 思いやりの心と実践力の育成**
 - ・相手に伝わるあいさつや返事、温かい言葉づかいへの継続指導
 - ・道徳授業の充実・みんなで使うものや自然を大切にできる態度の育成
 - 3 協調性や自主性の育成**
 - ・縦割り班活動の充実 (登校班・清掃班・児童会)
 - ・自主的・奉仕的な活動の推進 (無言清掃)

たくましい心と体の育成

- やり抜くことの喜びを味わわせます。
 - 進んで運動し、体力づくりに取り組む場を工夫します。
 - 安全で健康な生活への意識を高めます。
- 目標値:「体力テスト個人記録UP」「学校事故0」

1 継続して取り組む場の設定

- ・「早寝・早起き・朝ごはん・靴そろえ」等の推奨
 - ・家庭と連携した生活リズムの確立
- 2 体力や運動能力の向上**
 - ・実態にあわせた運動身体づくりプログラムの実施
 - ・体育の授業・体育的行事の充実及び外遊びの奨励
 - 3 安全意識の向上**
 - ・登下校指導の継続・避難訓練、防犯教室の実施
 - ・合同引き渡し訓練の実施・放射線教育の実施
 - ・SNS等の使い方の約束と指導

開かれた学校づくりと家庭・地域との協働の推進にむけて

- 1 学校の様子を積極的に発信します。(学校ホームページの更新や各種たよりの発行)
- 2 家庭や地域との協働の場を充実させます。(各種行事や体験活動の工夫・『学校支援ボランティア』の協力依頼)